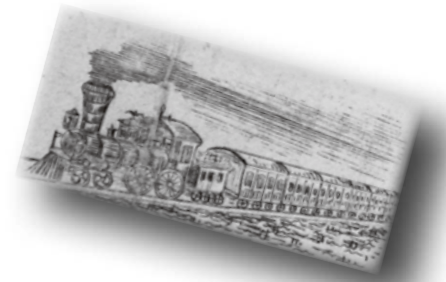


旅行時代の到来!!

- パノラマ地図と近代大衆旅行 -



現在、旅行は人々の生活の中に定着したものとなっていますが、旅へのあこがれは今も昔も変わりません。江戸時代中期ごろから旅の大衆化が進んでいきますが、本展では、全国的な鉄道路線網の拡充によって生まれた大正から昭和初期の旅行ブームを中心に、人々がどのように旅行を楽しんだのかを当時の鳥瞰図・ガイドブック・旅行案内書・絵はがきなどから紹介していきます。

中でも、大正中期から昭和前期にかけて、吉田初三郎という人物が生み出した折本形式の鳥瞰図が、全国的な大流行を巻き起こしました。この空を飛ぶ鳥から眺めたような構図の鳥瞰図は、画面両端を極端にU字形に曲げ、大胆なデフォルメ（変形）を施した遊び心溢れる描画を特徴とします。初三郎の富山県関係の作品は全国的に見ても多くはありませんが、最大のライバルといわれた金子常光をはじめとする多くの鳥瞰図絵師たちも活躍し、さまざまな鳥瞰図が描かれた時代でした。本展は、多彩な絵師たちによって描かれた富山県関係の鳥瞰図がまとまって展示される初めての機会であり、今までほとんど知られていなかった鳥瞰図だけでなく、貴重な原画も出品します。

本格的な春の行楽シーズン到来前に昔の富山へタイムトリップしてみませんか。



▲東岩瀬町鳥瞰図／昭和 11 年 (1936)／個人蔵
日満産業大博覧会で配布された鳥瞰図 (吉田初三郎画)。



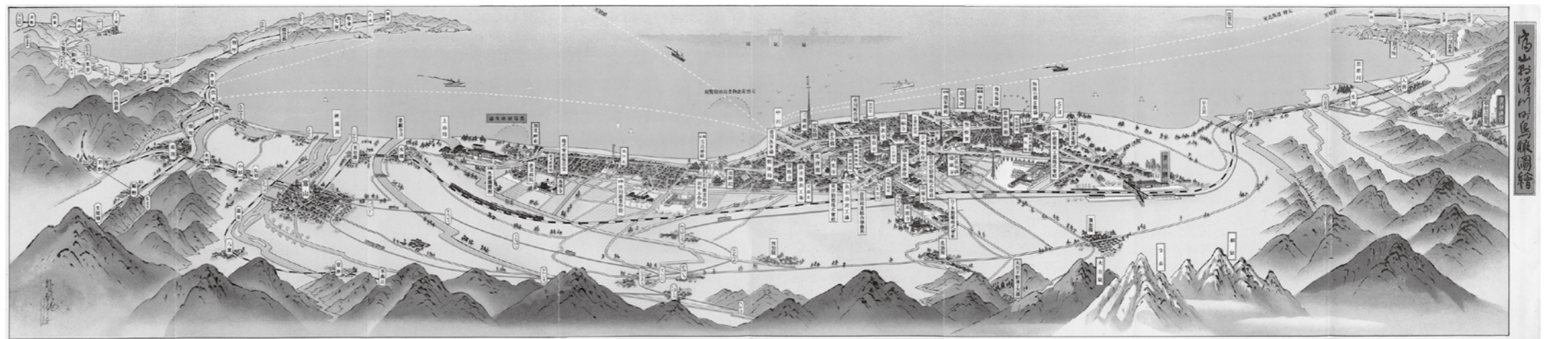
▲富山市を中心とする県下名勝鳥瞰図／昭和 7 年 (1932)／個人蔵
産業と観光の大博覧会への出品用に作られた鳥瞰図 (吉田初三郎画)。



▲伸び行く魚津／昭和 11 年 (1936)／個人蔵
魚津町のPRのために作られた鳥瞰図 (金子常光画)。



▲風光之氷見町鳥瞰図／昭和 11 年 (1936)／個人蔵
氷見町を中心に描いた鳥瞰図 (新美南果画)。



▲富山県滑川町鳥瞰図／昭和 11 年 (1936) ごろ／市立博物館蔵
滑川町が中心に大きく描かれ、滑川沖には蟹気楼や「天然記念物蜚鳥賊観覧場」、高月海岸には「蜚鳥賊地曳場」といった「二大奇観」に関するものも見られます。富山市で開催された日満産業大博覧会の際に制作されたと考えられる鳥瞰図 (吉田外二郎画)。

市三日	丁八	魚二	丁二	り川	なめ	水橋	山富	地分	功念	杉小	六丁
△石つ	△石つ	△木地	△木地	△木地	△木地	△木地	△木地	△木地	△木地	△木地	△木地
△つ	△つ	△つ	△つ	△つ	△つ	△つ	△つ	△つ	△つ	△つ	△つ
△つ	△つ	△つ	△つ	△つ	△つ	△つ	△つ	△つ	△つ	△つ	△つ

▲一新講社／明治 21 年 (1888)／入善町教育委員会蔵
旅館組合が発行した加盟旅館などのリスト。滑川の部分には「名物いかの黒付 (黒作) あり」と記載されています。



▲二大奇観／明治 42 年 (1877)～昭和 8 年 (1933)／市立博物館・富山県立図書館蔵
ホテルイカと蟹気楼をほかでは見られない滑川町の奇観として取り上げた観光冊子で、第 6 版まで発行されました。

滑川町で見たいものは、和山の千鳥に雪見の加積、馴れにし船は有磯の海に...」と「滑川町で見たいもの」が、七七調を繰り返す「口説」形式で列挙されています。



▲和田の浦／大正～昭和期／入善町教育委員会蔵
「和田の千鳥に雪見の加積、馴れにし船は有磯の海に...」と「滑川町で見たいもの」が、七七調を繰り返す「口説」形式で列挙されています。

と き 2月18日(土)～3月25日(日) **入場無料**
10:00～18:00

◆前期展 2月18日(土)～3月6日(火)
◆後期展 3月8日(木)～3月25日(日)
※毎週月曜日、3月7日(水)は休館日
※会期中一部展示替え

ところ 図書館3階 催事室

展示解説会
◆前期展 2月19日(日)、3月3日(土)
◆後期展 3月11日(日)、3月24日(土)
※いずれも 14:00～

問合せ先 博物館 ☎474-9200